

令和6年度府中市立府中第四中学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

◎児童・生徒の資質・能力を育成するため、教育活動で特に重視する4つの視点
 → 【発見すること】【対話すること】【決定すること】【表現すること】

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（生徒の学び方）

- ① 分からないことをそのままにして、学習を進めないようにする。
- ② 学習したことを振り返ったり、繰り返し練習したりして、基礎学力の定着を図るようにする。
- ③ 学んだことを、他の場面で生かしたり、応用したりしようとする意欲をもてるようにする。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ① 生徒のもっている資質・能力を伸ばせるよう、個に応じた指導を充実させる。
- ② 生徒が見通しをもって学べるように、授業1時間ごとのねらいをより明確に示す。
- ③ ICT機器を有効に活用した授業を展開できるようにする。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す生徒の学びの姿

- ・学ぶことに楽しみを感じる生徒【発見・対話】
- ・主体的に学ぼうとする意欲のある生徒【発見・対話】
- ・学んだことを様々な場面で生かせる生徒【表現・決定】

(2) 目指す授業像

- ・「できた」、「分かった」と感じられる場面が多い授業【発見・表現】
- ・言語活動を充実させ、思考力・判断力・表現力を育てる授業【対話・表現】
- ・ICT機器を有効に活用し、学んだことを様々な場面で生かせるような、応用力、問題解決力を養う授業【表現・決定】

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	・文学的文章では、心情の変化や表現の効果を考える指導を重点的に行い、説明的文章では、具体抽象などの情報の結びつきを理解するための指導を重点的に行う。【発見】 ・生徒間の意見共有を行っていく。【対話・表現】	美術	・導入段階で意欲を高め関心を引き出す工夫をする。作業が進まない生徒に対しては、個別指導の充実を図り、寄り添って一緒に考え美術への意欲をもてるよう働きかける。【表現】
数学	・生徒に具体的なイメージをもたせることができるようなICT機器の活用。【発見】 ・問題の内容を正しく捉え、考えを順序立てて説明する力の向上を図る。【対話・表現】	技術	・ものづくりを中心に、意欲を高め関心を引き出す授業展開を工夫する。進度の差が出る場合、居残り作業によりある程度差が出ないようにする。個別指導の充実を図り、グループでの作業の意欲をもてるよう働きかける。【表現】
社会	・単元構成（学びのプロセス）を生徒と共有する。例えば、社会問題をつかみ【発見】、分析するために【対話】をし、克服策等を選択・判断（価値判断・意思決定【決定】）し、自分の考えを【表現】する。	家庭	・授業のはじめに1時間の流れを提示し、見通しをもたせて取り組ませる。また、体験的な活動を多く取り入れ、実生活と関連付けた授業展開を行う。【発見・表現】
理科	・実験結果から根拠のある結論を導き出したり、既習の内容や生活経験と関連付けて考えたりすることができる活動と指導の充実を図る。【発見・決定】	保健 体育	・毎回の授業で補強運動や種目に合った補助運動を行い、基礎体力を高めていく。【発見・決定】 ・課題解決に向けての話し合いや、それに向けて行動や表現ができるような時間を設定する。【対話・表現】
音楽	・様々な音楽作品や音楽表現に感銘を受ける感性を育てる工夫をする。また、読譜のための基礎知識を学ぶ時間を取り入れる工夫をする。【表現】	外国語	・単元ごとに、生徒に身に付けさせたい力を設定し、授業内容をデザインする。また、Chatなどの常活動を充実させ、即興で自分の考えなどを「話すこと」ができる力の向上を図る。【発見・表現】

(2) 生徒用タブレット端末の活用【市共通】

- ・発表活動等で自分の考えを表現する際に、スライドを活用させる。【表現】
- ・学級全体での話し合いなどの言語活動でフィジカムを活用し、活動の充実化を図る。【対話】
- ・eライブラリアドバンスを活用し、学習の理解度を確認させたり、応用問題に取り組ませたりする。【発見】